

# 浄化槽の適正管理をお願いします

## 浄化槽のしくみ

浄化槽は水中の微生物が汚水の中の汚物を食べ、きれいな水に変えています。微生物には、大きく分けて、空気があるところで活動する好気性のものと、空気がないところで活動する嫌気性のものがあります。この微生物が働きやすい環境を整えてやることが大切です。

### 嫌気性微生物

酸素いらず  
ゆっくり  
食べるエコ型

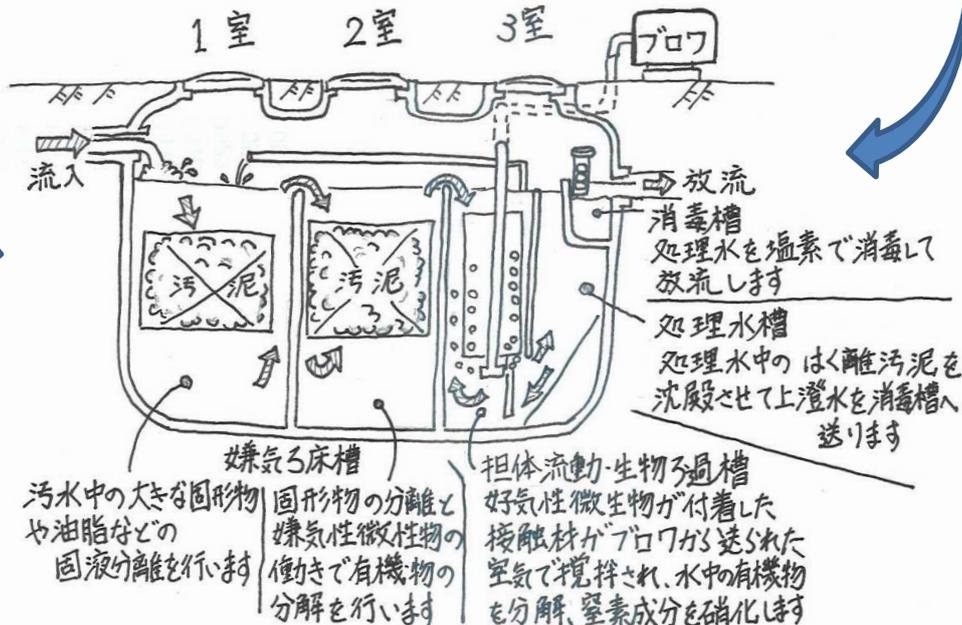


### 好気性微生物

酸素をガツガツ  
食べて有機物を  
どんどん分解

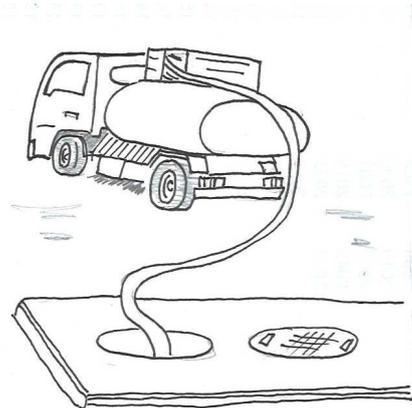


浄化槽の中では、下図のように汚水が浄化されています。



## 清掃(くみとり)が重要です

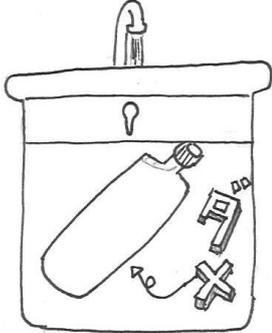
家庭から出た生活排水は、上図の1室、2室で固形物と汚水に分離され、汚水は3室でさらに浄化されて放流されます。一方、固形物は1室、2室の中にある、かご状の架台の中に付着し、汚泥となって溜まります。清掃を怠ると汚泥の重みに耐えきれず、架台が落ちる、または溜まったガスの浮力で架台の抑えが浮上するなどの故障が発生し、無用な出費がかかるばかりか、悪臭の元となったり、水の浄化に悪影響となってしまいます。



# 浄化槽の正しい使い方

水はきちんと流してください

トイレの洗浄水のタンクは中に物を入れたりしないようにしてください。



便器の掃除には塩素等の劇薬や大量の洗剤等は使わないでください

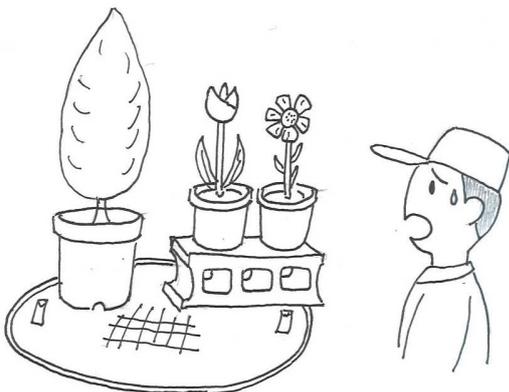
便器の掃除の際、劇薬や大量の洗剤を使うと、浄化槽内の微生物が死んでしまったり、弱ってしまいますので、十分注意してください。



塩酸  
クレゾール  
防腐剤  
花木の殺虫剤  
など

マンホールの上に物を置かないでください

保守点検や清掃でフタを開ける際の支障になりますので、物を置かないようにしてください。

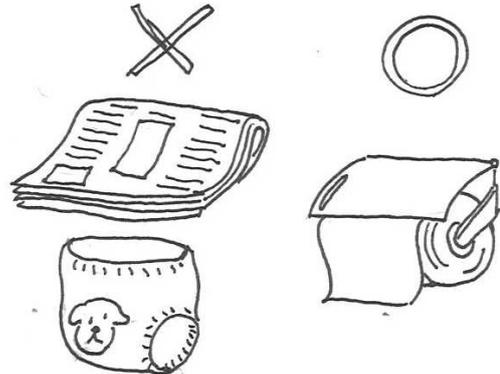


異物は流さないでください

○新聞紙やタバコの吸い殻、紙おむつなど、トイレトーパー以外のものは絶対に流さないでください。

○油は槽内の部品に付着し、機能障害になる原因です。使用済みの油は流さずペーパータオルで拭き取るなどして別に処分してください。

○犬、猫の排せつ物は浄化槽の能力オーバーになる可能性がありますので流さないでください。



ブロワの電源は切らないでください

ブロワは好気性の微生物を元気に働かせて繁殖させるために空気を送り込む重要な装置です。コンセントを抜いたり電源を切らないでください。

